

「こころはだれにも見えないけれど 心づかいは見える」

校長 桐野 和之

6月号では最初に、ある詩の一部を紹介します。

「こころはだれにも見えないけれど 心づかいは見える 思いは見えないけれど 思いやりはだれにでも見える」

この詩を知っている、覚えている人はいるのではないかと思います。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、地震や津波などによって東日本の広い地域にとっても大きな被害が広がりました。そのとき、テレビでは、被害を受けた人々のことを考えて、テレビ番組の間に入れるコマーシャルを中止しました。そのため、そのコマーシャルの代わりに、ACジャパンという団体がつくった映像が繰り返し流されました。

このACジャパンという団体は、お金儲けを目的とするのではなく、広告を通じて住みよい社会づくりを進めようと、全国のたくさんの会社がお金を出し合ったつくられた団体なのです。そのため、お互いにあいさつを大切にしようと呼びかける「あいさつの魔法」というアニメーション映像や、相手を傷つける言葉を慎み、優しい会話が広がることを呼びかける、金子 みすづさんの「こだまでしょうか」という詩と映像なども流されたのです。今号で紹介したこの詩と合わせて流された映像では、電車の中で座席に座っていた男子学生が、電車に乗ってきたおなかの大きな女性に席を譲ろうかどうか迷う場面があり、結局、違う席に座っていた若い女性が席を譲りました。そして、その次の場面では、長い石の階段をたいへんそうにあがっていくおばあさんを見たその学生が、一度通り過ぎたあとに戻ってきて、そのおばあさんに手を貸す姿がありました。実は、紹介している詩は、宮澤 章二さんという作詞家の方がつくった詩「行為の意味」をもとにつくられたものだそうです。この詩のなかで宮澤さんは、こころづかいや思いやりが見える理由を「人に対する積極的な行為だから」と言っています。そして、この詩はこんなふうに結ばれています。

あたたかい心が あたたかい行為になり／やさしい思いが やさしい行為になるとき <心>も<思い>も初めて美しく生きる／それは 人が人として生きることだ

電車の中で席を譲れなかったあの男子学生のように、たとえ思いやりの心や気持ちをもっていても、それを行動として行わなければ、そのような思いや気持ちをもっているとは誰も思いません。反対に、やさしく温かな思いやりのある行動や心づかいは、だれにでもすぐわかります。だからこそ、人を思いやるそのやさしい心や気持ちを、勇気をもって積極的に行動として表すことが大切なのです。そして、そのようにふるまうことが、人としてのとても大切な生き方でもあるのです。お互いに思いやりの気持ちにあふれた社会をつくり出すためにも、皆さん一人ひとりが、思いやりの心や気持ちを積極的に行動として表し、ぜひ見せてほしいと願っています。

「日本一の運動会を目指して」

主幹教諭／保健体育科 高橋 健司

本校の運動会は、平成18年度より企画や運営方法について大幅に改変し、取り組んで来ました。新しい学年を迎えた春の時期の運動会実施にあたり、「規律ある集団行動」「活力」「あいさつ」「思いやり」「異学年、異年齢集団による協調、協力」「クラスの団結」「男女の協力」など、様々な教育効果を生み出すよう、生徒一人一人に一役以上の役割を与え、その責務を生徒一人一人が担い、果たすことで運動会が進行する取り組みを今年も展開しました。



係や競技者以外は応援席にもどって応援する生徒の組織体制を重視しました。出場している選手の中から選ばれた「誘導責任者」が自分の競技団体を指定場所まで誘導する。競技進行は生徒会本部役員を中心とした進行係による手旗で行う。そして各係がそれぞれ連携することで入退場を指揮するなど、本番当日は、生徒が主体となった競技運営や進行を行い、『教員の姿が見えない生徒が主体となった運動会』の取り組みをご参観いただけたことと思います。



年々、生徒（特に本校において）の体力低下が危惧されています。また、最近「組体操」や「むかで競走」の是非がマスメディアなどで話題になっています。

本校では「安全第一」を柱に、「無理をしないでなまけない」をモットーとした、今までの時代と何ら変わらぬ取組を行い、第3学年はいつも通りその責任を果たしました。

全学年とも、今もっている力の限りを尽くし、素晴らしい演技、競技、係、応援を全うしました。生徒たちをぜひ、ほめてあげてください。この成果が、生徒たちの確かな「生きる力」となり、今後の学校生活や人生に活かされていくことと信じています。

学校における昨今の教育課題で、安全に対する様々な考え方が錯綜しています。今の子どもたちをいったいどのように育てたいのか。子どもたちを大人へと成長させ、導くために何を行うことが必要なのか。学校現場を中心とした我々指導者がしっかりとした考えや指導力をもつことが必要だと思えます。本年度も地域の方々をはじめ、保護者の方々の厚い、そして温かいご理解、ご支援、ご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

「支え合う」

3年A組 沖 怜未

青空のもと、運動会は行われた。第55回という特別なこの日を無事に迎えることができるとても嬉しかった。私はこの1日に素敵なものを感じ、体験した。その素敵なものとは、仲間の優しさだ。最上級生として、良い思い出にしたかった自分は、勝ち負けにこだわっていた。3年学年種目の大むかでの結果は、残念ながら3位だった。競技が終わった後の皆の顔をうかがったが、何一つ変わってなかった。自分はとても落ち込んだ。楽しむことを忘れて、勝ち負けにこだわっていたからだと思う。皆の優しさは、結果よりも大事なものを教えてくれた。



次に学級代表リレーだ。3年連続で出場してきたこの種目には、とても強い思いがあった。それは良い結果を出し、先生方や、見てくれる仲間を感動させることだ。しかし、その願いは叶わず、3位という結果になった。自分は、アンカーだったので、1位を取れなかった申し訳ない気持ちが心に走った。その後、落ち込んだ自分を励ま

してくれる仲間がいたのだ。その時、私はとても仲間の素晴らしさを感じた。誰一人文句を言わず、いつも通り楽しそうだった。そんな中、落ち込んだ自分は、だんだん消えていった。最後の運動会ということ胸に、一生懸命盛り上げてくれる皆の姿にとっても感動した。支えられているなとつくづく思えた。全競技が終わった後の、群団ごとの最後の締めでは、A群団応援団長を始め、皆の心が一つだった。そして笑顔だった。皆は楽しむことの大切さを教えてくれた。



A群団は、色別優勝した。それはそれは嬉しかった。振り返ってみれば、風のように短い運動会だった。中学校最後の運動会のダンスは、今まで一番楽しく踊れた。1年生の時はすごく苦労した係の仕事も、円滑に行えた。また、この日を迎えるまでの間、たくさんの方が長い時間をかけて頑張ってきた。裏で支えて下さった先生方、最後まで指導をして下さった先生方には感謝の思いでいっぱいだ。

仲間とは、お互いの失敗を受けとめ、責めないこと。仲間とは、辛い時に、支え合う力を生み出すもの。仲間とは、かけがえのない時間を楽しく作り上げるもの。皆の知らなかった優しさにたくさん出会えた日だった。ありがとう。

2年生上級学校調べの発表

2年生では6月7日(水)の第5校時に、上級学校調べの発表会を総合的な学習の時間に行いました。生徒たちは、私立や都立のさまざまな学校について調べた内容をワークシートにうまくまとめ、それを拡大投影機に写しながら発表しました。特に教育、学校の施設設備、部活動の特色や卒業後の進路選択、最寄りの駅や利用する交通機関についてまとめたことを発表しました。いくつかの高校の発表内容を紹介します。



A高校は全天候型のテニスコートがある。部活動はいろいろあるが、専門系の活動がある。(園芸部、果樹部、食品加工部、食品化学部、クッキング部、農場部、造園部ほか。)また、男女の生徒数は男子177人、女子344人と具体的に数字をあげ、基礎基本を重視したきめ細かい指導が学校の特色であると発表していました。

B高校は都会にありながら全室冷暖房が完備し、新宿御苑の緑にも隣接する素晴らしい環境がある。進学指導特別推進校で進学重視型単位制高校である。教科指導力が高く、進学指導に意欲と実績がある教員が前途から集められている。有名大学にたくさんの生徒が進学している。

C高校は進学指導重点校で理数イノベーションを行っている。また、国立よりも私立の大学へ進学する卒業生が多かった。進路指導の方針は「授業を軸にC高校の3年間で生徒を伸ばす。最高の仲間と切磋琢磨し、自分にとって難関大学を目指す。授業は団体戦。」などいろいろな角度から学校を調べ、よく特色を捉えていました。

2年生では、夏休みに実際に高校を訪問し、調べたことをまとめる進路学習を予定しています。

平成29年度・道徳授業地区公開講座「講演会」

6月10日(土)の道徳授業地区公開講座では、授業に引き続き、サインボーカリスト、水戸 真奈美さんをお招きして講演会を実施しました。

講演会では水戸さんより、小さい頃は引っ込み思案でとても歌手になる夢を実現できるとは思っていなかったこと。耳が聞こえない人にも自分の歌を届けたくて、サインボーカリストになったこと。また、6年前の東日本大震災時に、防災アナウンスを続ける中で亡くなられた遠藤未来さんについても話をされました。



講演では特に、2つの勇気、あきらめない勇気、あきらめる勇気について話をされました。さらに「キミはここにいる」という自らの歌に、2つの勇気の歌詞があることも語ってくれました。そして、ダイバーシティ(多様性)というものの見方、考え方の重要性を語り、教えてくれました。

講演の最後にはアリーナの生徒たちや保護者、地域の方々とともに、あいさつの歌を手話と一緒に歌いました。

『あいさつって良いね 目を見て笑顔で元気よく』『あいさつっていいね。心もすっきり楽しいね。』を繰り返し、水戸さんと生徒、保護者、地域の方々が歌と手話を会場にいる大勢の人たちで共有し、楽しい時間を過ごすことができました。

～部活動等結果～

○バスケットボール／練馬区総合体育大会

<男子> 1回戦 貫井85-50大北 2回戦 貫井62-67中村
<女子> 1回戦 貫井26-96光二



○野球／練馬区総合体育大会 貫井0-14旭が丘



○剣道／練馬区総合体育大会

<男子団体・個人> 団体1回戦 貫井0-5田柄 個人戦/3年秋草海斗・2年 岩崎 尚希1回戦敗退
<女子団体・個人> 1回戦 貫井・石南1-3大二 個人戦1年 小山 瑚桃、1回戦敗退
第3ブロック大会/ 男子団体・個人 貫井0-5松溪 個人/3年秋草海斗・2年 岩崎尚希1回戦敗退 女子個人/小山瑚桃、1回戦敗退



○陸上競技／ 第68回東京都中学校地域別陸上競技大会支部大会

男子西部1年走幅跳 10位 安納 隆一郎 4m52

男子西部低学年4×100m 9位 杉渕・関口・安納・成田 50秒89

*安納君、走り幅跳び、杉渕君・関口君・安納君・成田君リレーチームは都大会に進出！！

○ソフトテニス／練馬区総合体育大会

<男子団体> 貫井2-1豊玉、貫井2-1関、貫井0-3大北、貫井2-1光二
貫井2-1上石、貫井2-1開進三 *男子団体都大会出場！！

<女子団体> 貫井0-3大二、貫井2-1開進二、貫井1-2石西

○柔道

第3ブロック大会

<男子団体> 貫井 準優勝<女子団体> 貫井 優勝 *男女とも団体都大会進出！！

<男子個人>

60kg級 安食颯太／第3位 66kg級 柳 修平／優勝

73kg級 遠藤宅真／準優勝 90kg級 小池邑飛／優勝 *全員都大会進出！！

<女子個人> 48kg級 藤本華音／優勝 52kg級 川村るん／優勝 57kg級 中出百々恵／優勝、羽賀小百合／2位 70kg級 池上鈴香／優勝

70kg 超級 池上桃香／優勝 *全員都大会進出！！

